

## 第5章 緑地保全及び緑化のための施策

### 1. 施設緑地の方針

#### 1) 身近な公園の整備の方向性

本市は、地形的な特性により湾域の狭い扇状地に市街地や集落が立地していることから、背後を山地樹林に囲まれ身近な自然の水と緑が多いことが特徴であります。平地の多い笠利地区においても、集落周りに農地、屋敷林、山地樹林が多く分布し緑に囲まれています。しかし、市民の日常的な憩いの場となる公園等の緑地は、市民から歩いて行ける身近な公園への要望がある半面、公園用地の確保などに問題があります。こうした緑資源の多い特性を踏まえ、日常生活と密着して利用されるべき住区基幹公園など身近な公園の在り方について以下の方向性で推進します。

#### 住区基幹公園等身近な公園

街区公園の緑の機能確保に当っては、身近な屋敷林や民有地や、集落や地域の集会所などで有効活用を図ります。また近隣公園がもつ緑の機能確保に当っては、学校や民有地など地域の身近な緑資源の有効活用を図ります。

#### 都市計画区域内について

- ・ 既設街区公園の利用促進
- ・ 施設のリニューアル・改良
- ・ 河川・水路等によるネットワーク化を図る

#### 都市計画区域外について

- ・ 集会所などに公園的機能を整備する
- ・ 民有地や耕作放棄地、未利用地などの借地公園
- ・ 河川・水路等を活用した公園的利用
- ・ 農村公園としての整備

#### 整備方針について（特に既存公園のリニューアル）

- ・ 施設のバリアフリー化、長寿命化を推進
- ・ 老朽化が進んだ公園や身障者・高齢者への配慮不足の施設がある公園を、住民参加によるワークショップ形式で整備を推進
- ・ 四季の草花や花木の充実した憩いの広場、芝生の広場、子育て、健康づくりの場の整備を推進
- ・ 公園ごとに特性があり、奄美らしいイメージを演出する整備を推進

## 整備のイメージ



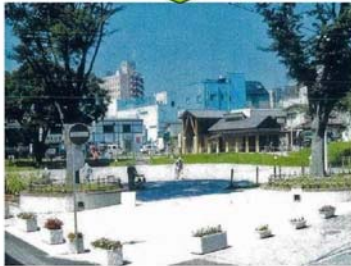
ワークショップによる模型作り

市民協働による草花植栽

<再整備前>



<再整備後>



安心安全な公園への  
リニューアル事例



施設のバリアフリー化の事例



親子での健康づくり



奄美らしさの施設に事例  
琉球松と萱葺き屋根の造形シェルター



奄美らしさの施設事例  
ナバ石垣のベンチ

## 2) 大規模公園の整備の方針

本市の大規模公園には、都市基幹公園の名瀬運動公園、あかさき公園（総合）、おがみ山公園（総合）のほか、都市公園以外の施設緑地として、運動公園系統の太陽ヶ丘運動公園、観光交流系統の大浜海浜公園、マングローブパーク、あやまる観光公園などがあります。これらの公園は、開園後 20～30 年以上が経過している施設もあり、施設の老朽化が進み、機能不足やバリアフリー化されていない施設も目立っています。このような状況において、市民の健康増進、レクリエーション利用のニーズ、また、島外からの観光客やスポーツ合宿のニーズの高まりに対応し、より質の高い施設環境の提供、利用促進を目指し以下の方針により再整備の検討を推進します。

### ①名瀬運動公園

- ・市民の健康増進、憩いの場の創出とスポーツ合宿に向けた整備の推進
- ・野球場。陸上競技場、体育館等運動施設の改修
- ・広場や休憩施設、駐車場の改修
- ・施設のバリアフリー化、長寿命化

### ②あかさき公園

- ・市民のレクリエーション利用、憩いの場としての整備の推進
- ・花木園、果実園、グラウンドゴルフ、遊歩道、遊具施設等の改修
- ・広場や休憩施設等の改修
- ・施設のバリアフリー化、長寿命化

### ③太陽ヶ丘運動公園

- ・市民の健康増進、憩いの場の創出とスポーツ合宿に向けた整備の推進
- ・老朽化施設の改修
- ・サクラ並木の整備
- ・施設のバリアフリー化、長寿命化

### ④あやまる観光公園

- ・市民のレクリエーション利用、観光客に向けた整備の推進
- ・老朽化施設の坂井修、グラウンドゴルフの整備
- ・施設のバリアフリー化、長寿命化

### ⑤マングローブパーク

- ・市民のレクリエーション利用、観光客に向けた整備の推進
- ・交流広場、遊歩道の整備

## 施設整備のイメージ



野球場のバリアフリー化（外野スタンド）の事例



第3種競技場の事例



休憩施設の事例



休憩施設・便所の事例



グラウンドゴルフの事例



花木園（ツツジ園）の事例

### 3) 学校施設の整備の推進

広いグラウンドを有する小中学校の地域開放を推進し、地域住民のスポーツ等のレクリエーション利用に対応するとともに、災害時における避難施設としての機能充実を図ります。また、校内では緑量の増大を目的とする緑化や校庭の芝生化の検討、環境教育の場として、ビオトープづくりを検討します。



校庭の芝生化の事例



ビオトープの整備の事例

## 2. 市街地の緑化方針

### 1) ヒートアイランドと緑化の必要性

名瀬地区全体の緑被率は80%以上であるが、市街地内には緑が少なく、地表面温度が高いことが予想されます。涼しく快適な環境を創出するために市街地を緑化することが重要なことです。

緑化することで市街地の温度が低減し、エアコンの消費電力削減による省エネルギー化や涼しく歩きやすい市街地の創出が期待できます。



公園の貴重な緑があるが市街地内には緑が少ない

図 屋上緑化の温度抑制と消費電力の検証

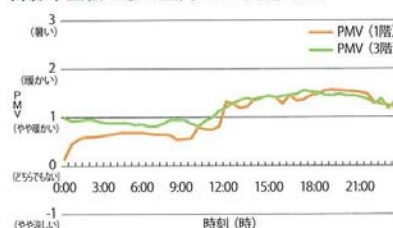
#### 草屋根が30℃も表面温度を下げる

御影草屋根の家の表面温度 [写真2]



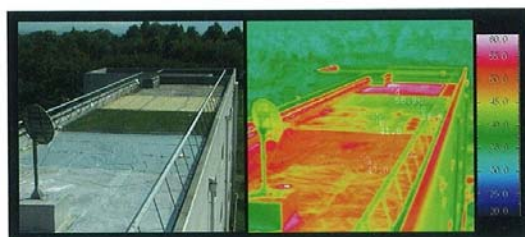
#### 1階・3階とも大きな差がない

御影草屋根の家の室内PMV変化 [図4]

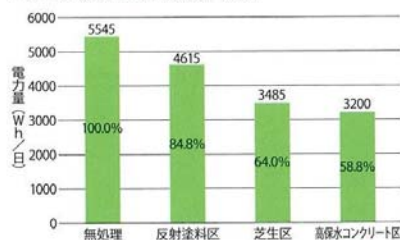


#### 芝生緑化部は消費電力36%減

RC造建築で行った実験の様子 [写真3]

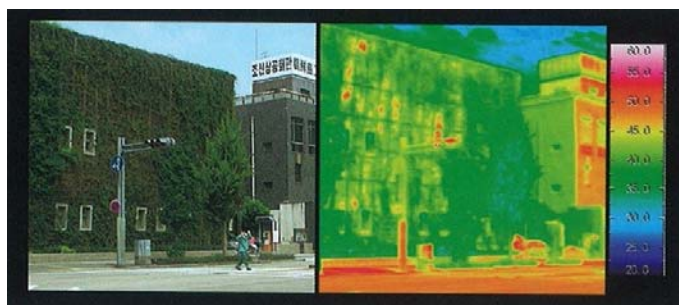


#### エアコン消費電力の比較 [図5]



出典) 建築緑化入門より抜粋

図 壁面緑化の温度抑制の検証



真夏に建物表面の温度を計測した写真  
右隣のビルは50℃前後であるが、壁面緑化したビルは30~40℃台におさまっている

出典) 建築緑化入門より抜粋

## 2) 市街地の緑化方針

市街地の緑化方針を以下の内容で推進します。

- ・屋上緑化、壁面緑化、駐車場緑化などの推進を図る。
- ・街路樹の樹種検討による緑量の増進を図る。
- ・多様な植栽が可能な空間の確保を検討する。
- ・商業施設や民有地の協働による緑化の推進を図る



屋上緑化の事例



市内の壁面緑化の事例



駐車場緑化の事例



建物周りでの緑化の事例



緑量の多いガジュマルの  
街路樹事例



協働による市街地の花壇  
づくりの事例